

RICOH

Visual Communication

デジタルサイネージ

お客様導入事例



デジタルサイネージの導入で催事案内の業務を変革！

リコーデジタルサイネージで日ごとに変わる催事イベント情報も簡単に発信。

業務の効率化を図ると共に、お客様に注目される催事案内を実現。

株式会社京阪百貨店 様

- ご導入機種：RICOH Digital SignageおよびAdmint Stick* x 3
*デジタルクルーズ株式会社製
 - ご導入拠点：京阪百貨店 守口店
- Company Profile
- 業種：流通小売業
 - URL：www.keihan-dept.co.jp



リコーデジタルサイネージのおかげで、毎週変わる催事案内を効率的にゆとりをもって発信。さらに、日ごとに変わる出店情報も自席から簡単にタイムリーかつ、魅力的に発信できます。



京阪百貨店 守口店

京阪百貨店様は、大阪府内に守口店をはじめ、5店舗を展開する百貨店です。これまで催事案内用として製作していた看板にかかる印刷コストと手間の削減ならびに、百貨店にとって重要な催事会場へより多くのお客様を集めることを目的として、守口店にリコーデジタルサイネージをご導入。デジタルサイネージならではの映像を活かしたインパクトのある効果的な催事告知を実現されたと共に、これまで看板の設置にかかっていたコストと手間の削減も同時に達成されました。

導入の狙い

毎週変わる催事の案内を看板で対応していたが、印刷コストや製作・設置・回収の手間がかかっていた。

催事の開催中に変わる出店する店舗案内などの告知は、看板掲示では対応できなかった。

印刷物ではラーメンや肉料理などを美味しく魅せるシズル感が表現しきれなかった。

導入後の効果

印刷コストの削減に加え、パネル製作・設置・回収の手間がなくなった。

日替わり出店などの情報が、日ごとに簡単に切り替えられ、タイムリーな出店案内ができるようになった。

画面の切り替えや動画の活用、シズル感ある映像表示で注目を集められ、催事場が活気づいた。

食品はシズル感のある映像で、お客様からの注目度もアップ。コスト削減を超えた大きな効果を実感しています。



百貨店では毎週週替りで催事イベントを開いております。催事は百貨店にとってお客様を呼び込むための重要なプロモーションで、いかにお客様の注目を集めるかを、常に模索しています。これまで催事の館内案内は、8Fの催事場のエスカレーター上部に大きな看板と、さらにプリンターで印刷した看板を館内数カ所に設置していました。看板は印刷コストのみで約1,500円かかり、印刷時間も1枚約5分かかっていました。印刷物をパネルに貼り館内に設置することまで含めると、催事の案内に関わるコストとマンパワーは相当な量でした。また、日ごとと変わる出店情報などのタイムリーな情報を案内したくても、看板だけでは日々案内を変えるような細かな対応はできません。このため、催事案内をもっと効率的かつ魅力的にするためには、催事案内のやり方を変革が必要でした。

こうした課題を解決するため、リコーデジタルサイネージの導入しました。看板の製作コストや設置にかかる手間は目に見えて削減しました。デジタルサイネージ導入にかかる初期費用やサービス利用料も導入しやすい価格ですし、クラウド配信型のデジタルサイネージなので、自席から日替りの出店情報など、お客様へタイムリーに流したい情報を一括で切替えられるのは大変便利です。また、デジタルサイネージの特徴を活かすことで、紙では表現できなかった、動きのある魅力的な催事案内ができるようになりました。特に食品催事では、ラーメンなどの写真がシズル感まで表現できるようになり、訴求効果は圧倒的に向上しました。結果として催事場は活気付いて売上も好調です。こうした効果に、リコーデジタルサイネージが貢献しています。



館内での催事告知は、以前は印刷看板(左)を製作。今は、デジタルサイネージ(右)に変更。デジタルサイネージならではの魅せ方も工夫され、お客様の注目度もアップ。



リコーデジタルサイネージに必要な無線ネットワークとスティック型のSTBをディスプレイの後ろにまとめて設置。STBはコンパクトで場所を選ばず設置が可能。コンテンツはクラウドサーバーから配信するため、インターネットにつながればいつでも、どこからでも更新が可能。

リコーデジタルサイネージ導入
4大選定ポイント

- ①コンテンツ作成から配信設定まで簡単操作で、従来のコストや手間を削減できる。
- ②初期費用やサービス利用料も、ローコストで導入しやすい価格設定。
- ③番組表による設定で、日や時間ごとにコンテンツ切り替えが可能で、日替りでタイムリーに告知ができる。
- ④動きのあるコンテンツを通して、お客様にインパクトを持って催事内容を訴求できる。

京阪百貨店様のソリューション事例を、さらに詳しく、Webで。

http://www.ricoh.co.jp/case/1705_keihan-dept/

※Admin StickおよびSmart Stickは、デジタルクルーズ株式会社製となります。
※本ちらし記載の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

リコーのデジタルサイネージ
<http://www.ricoh.co.jp/signage/>



本レポートは、リコーが提供する新しいクラウドサービスである Clickable Paper サービスに対応しています。
スマートフォン/タブレット端末用アプリケーション「TAMAGO Clicker」(無料)をダウンロードし、ページを撮影(クリック)すると、関連情報のあるインターネット上のサイトがご覧いただけます。
www.ricoh.co.jp/software/other/clickablepaper/

RICOH リコージャパン株式会社
imagine. change.

お問い合わせ・ご用命は

<http://www.ricoh.co.jp>